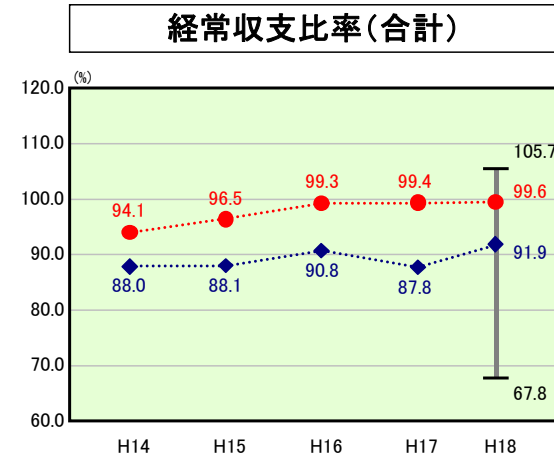


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

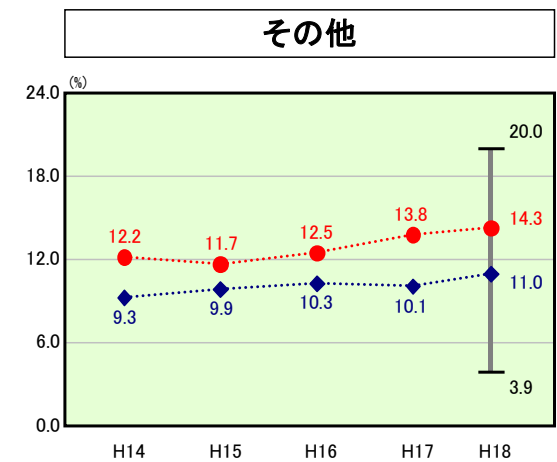
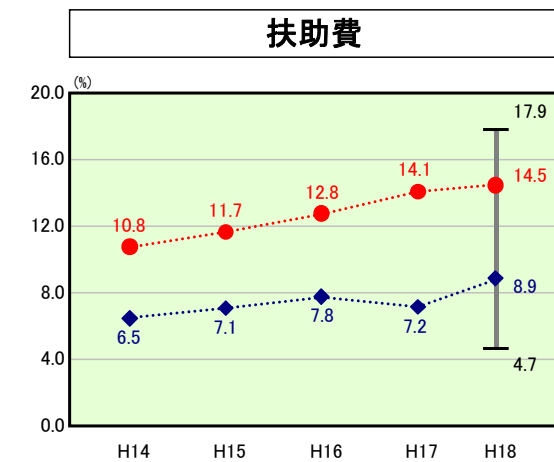
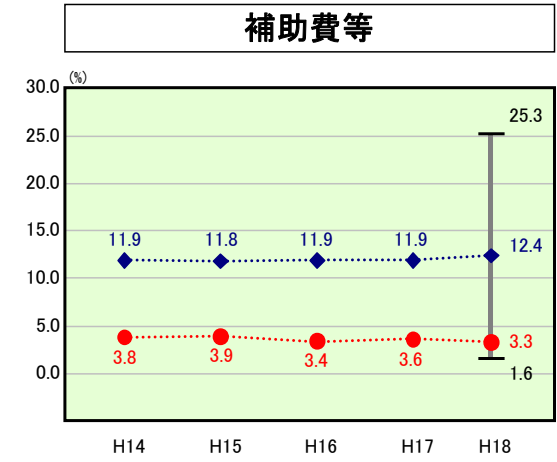
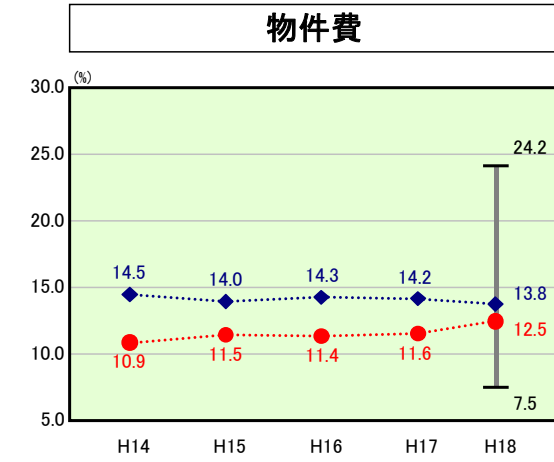
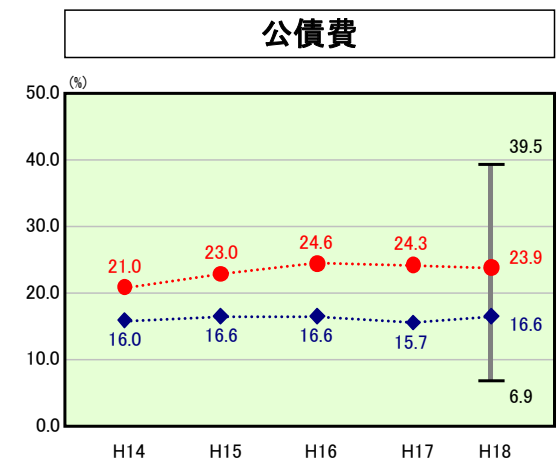
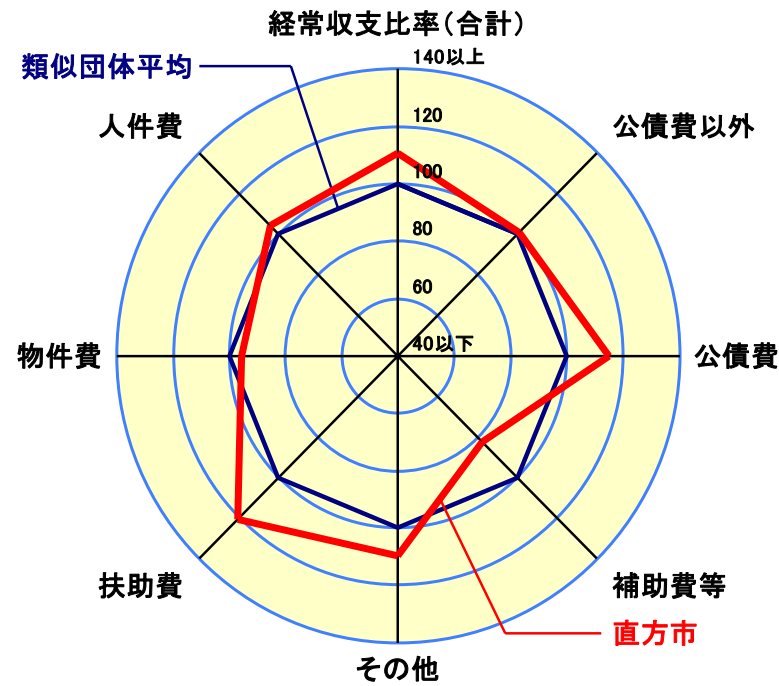
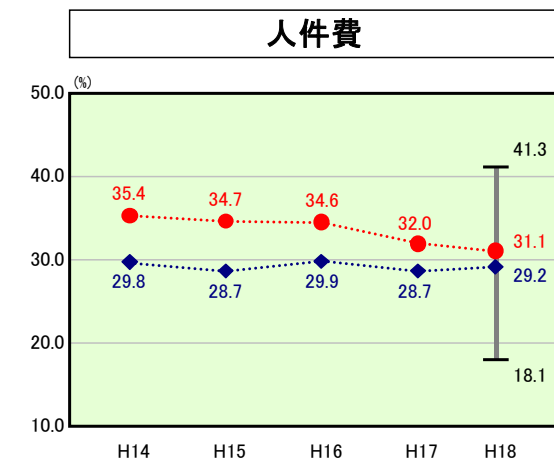
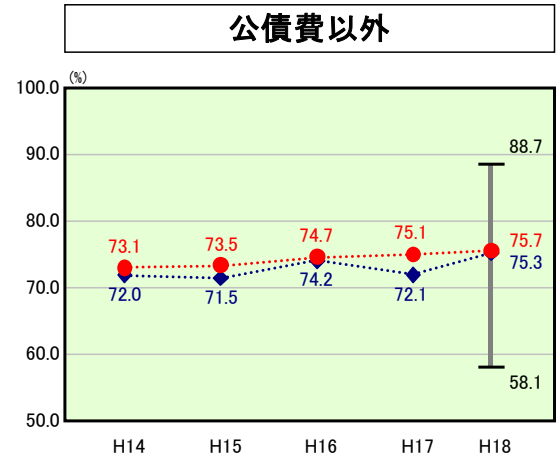
福岡県 直方市

経常収支比率の分析



当該団体値 ●
 類似団体内平均値 ◆
 類似団体内最大値 ▮
 類似団体内最小値 ▾

人口	59,144人(H19.3.31現在)
面積	61.78 km ²
歳入総額	24,157,520千円
歳出総額	24,027,974千円
実質収支	16,310千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

○人件費
 ごみの収集運搬業務・学校給食・保育所等を直営で実施しており、職員数が類似団体と比較して多いため、経常収支率の人件費分が高くなっている。直方市行政改革実施計画に掲げた取り組みの実施により改善を図っていく。具体的には、退職職員の新規職員不補充による職員数の減など行政改革への取り組みを通じて人件費の削減に努める。

○扶助費
 扶助費に係る経常収支比率が類似団体と比較して高くなっている。この要因は扶助費の中でも、特に生活保護費に係る比率が高いことが挙げられる。資格審査等や単独事業の見直しで更なる適正化に努める。

○公債費
 平成10年度から平成13年度にかけて地方債を財源とした大型基盤整備事業を実施したことに伴い地方債残高が増加した影響で、地方債の元利償還が膨らんでおり、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を7.3%上回っている。公債費負担については、現在、事業の選択により新規発行額の抑制に努めているが、引き続き地方債現在高の減少に努める。

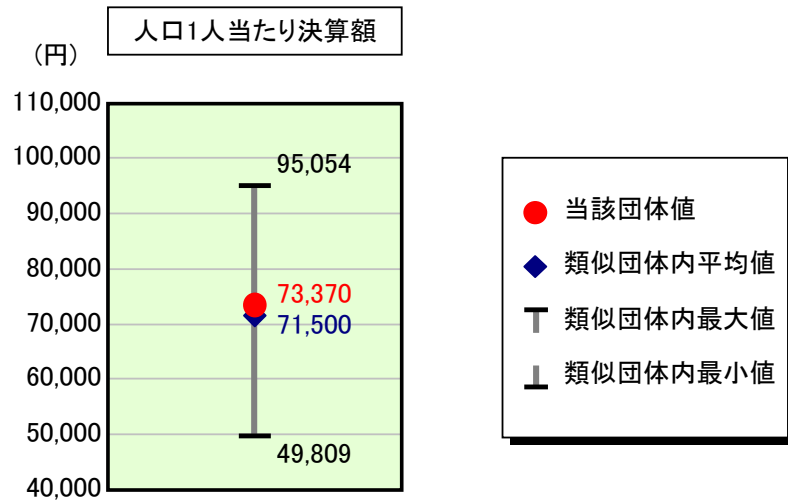
○補助費等
 補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を大きく下回っている。これは、一部事務組合に対する負担金等が類似団体平均を大きく下回っていること等の要因による。また、平成18年度補助金を見直し、一部補助金の10%削減や廃止を行った。今後も引き続き明確な基準を設けて、不適当な補助金の見直しや廃止に努める。

○その他
 その他に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、公営企業会計への繰出金は類似団体平均を下回っているものの老人保健事業会計、介護保険事業会計への繰出金が類似団体平均を大きく上回っていることが要因として挙げられる。今後は、下水道事業会計への繰出金の増加も予想されるため、公共下水道事業会計をはじめ特別会計の経費削減等を行うことにより繰出金の削減に努める。

歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 直方市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



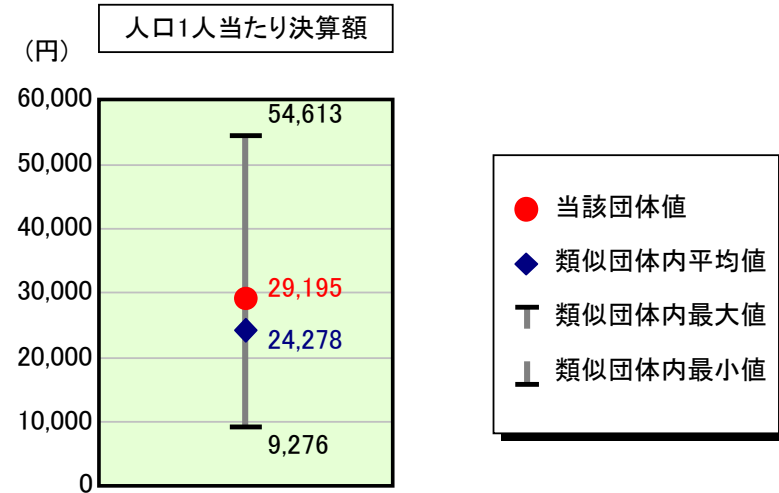
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	4,491,425	75,941	64,710	17.4
賃金(物件費)	54,200	916	2,980	▲ 69.3
一部事務組合負担金(補助費等)	8,856	150	5,942	▲ 97.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	719	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	536	9	0	0.0
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	232,379	3,929	2,940	33.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	130,467	2,206	1,243	77.5
▲退職金	▲ 578,480	▲ 9,781	▲ 7,034	39.1
合計	4,339,383	73,370	71,500	2.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.34	6.49	0.85
ラスパイレス指数	100.5	98.4	2.1

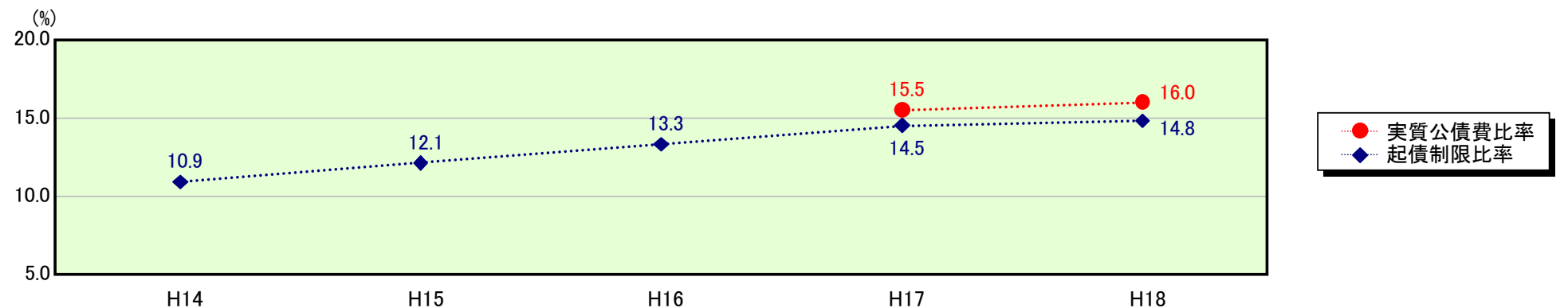
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	3,061,137	51,757	32,243	60.5
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	31	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	339,412	5,739	10,024	▲ 42.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	1,164	20	3,484	▲ 99.4
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	8	0	1,597	▲ 100.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	153	3	30	▲ 90.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,675,145	▲ 28,323	▲ 23,132	22.4
合計	1,726,729	29,195	24,278	20.3

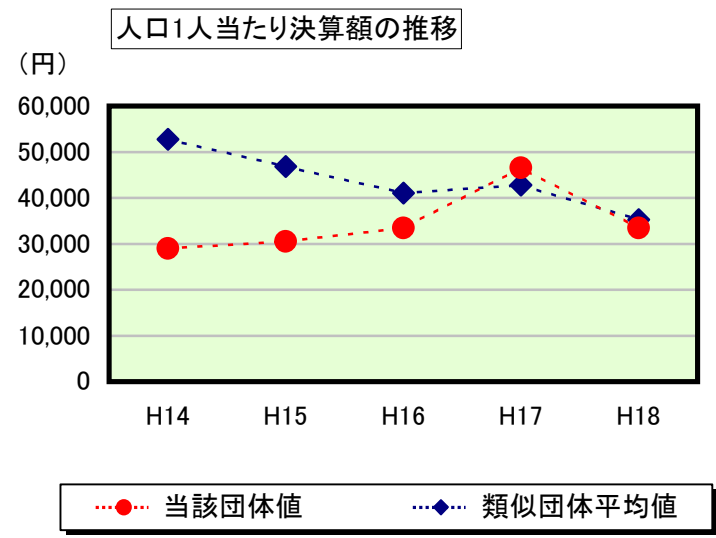
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 直方市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H14	1,739,879	28,988	▲ 56.2	52,771	▲ 11.3	▲ 44.9
うち単独分	1,180,022	19,660	▲ 39.0	36,300	▲ 12.9	▲ 26.1
H15	1,819,829	30,547	5.4	46,857	▲ 11.2	16.6
うち単独分	1,002,582	16,829	▲ 14.4	33,349	▲ 8.1	▲ 6.3
H16	1,983,102	33,436	9.5	41,062	▲ 12.4	21.9
うち単独分	1,210,279	20,406	21.3	28,632	▲ 14.1	35.4
H17	2,754,296	46,540	39.2	42,811	4.3	34.9
うち単独分	2,304,884	38,946	90.9	29,783	4.0	86.9
H18	1,978,273	33,448	▲ 28.1	35,287	▲ 17.6	▲ 10.5
うち単独分	1,443,380	24,405	▲ 37.3	22,883	▲ 23.2	▲ 14.1
過去5年間平均	2,055,076	34,592	▲ 6.0	43,758	▲ 9.6	3.6
うち単独分	1,428,229	24,049	4.3	30,189	▲ 10.9	15.2